

和室建材

戸襖引戸枠セット

施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

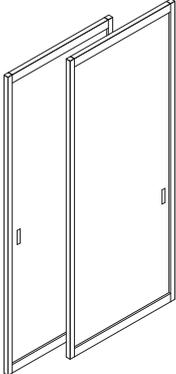
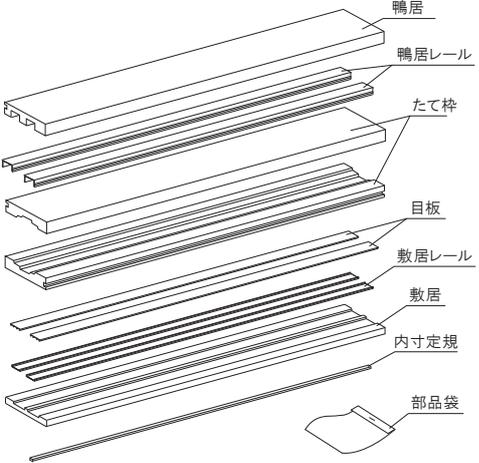
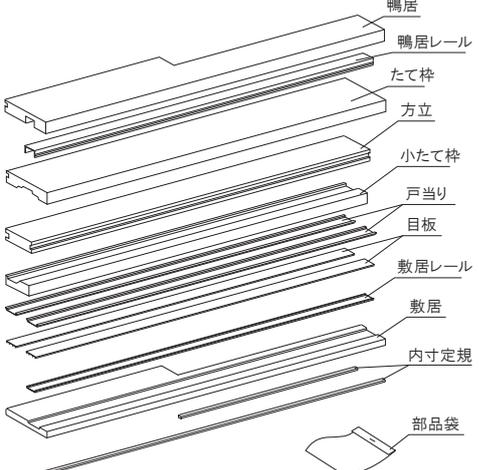
組み立て・取り付け上の注意事項

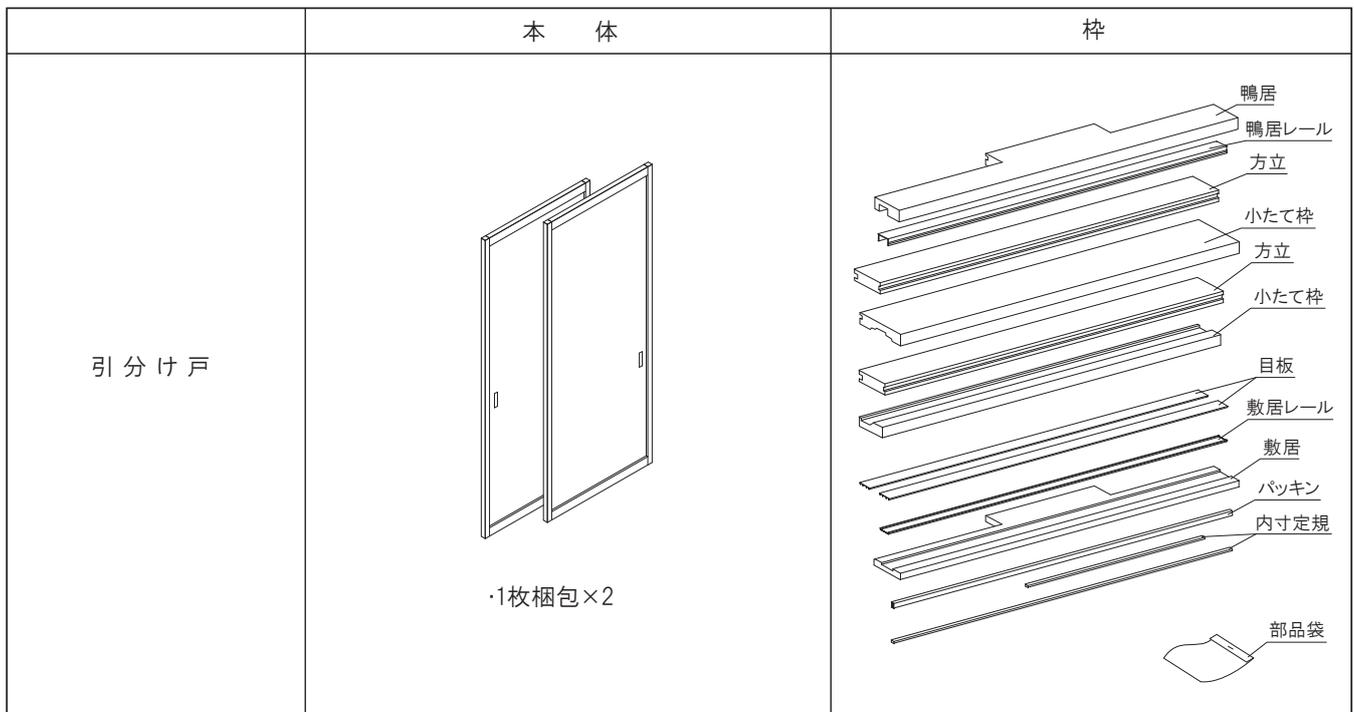
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

- 指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- 接着剤やかかし釘は現地にて手配してください。また、接着剤は合成ゴム系接着剤、あるいは同等以上の性能を有するものを使用してください。
- 現地で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプをご使用ください。
- 本来の目的以外への転用および改造は行なわないでください。
- 組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作が正常に行なうことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- 引き渡し前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

梱包内容の確認

- 開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください)
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

	本 体	枠
<p>引違い戸2枚建 引違い戸3枚建 引違い戸4枚建</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●引違い戸2枚建 ・2枚梱包×1 ●引違い戸3枚建 ・2枚梱包×1 ・1枚梱包×1 ●引違い戸4枚建 ・2枚梱包×2 	 <p>鴨居 鴨居レール たて枠 目板 敷居レール 敷居 内寸定規 部品袋</p>
<p>片引戸 片引2枚建 片引3枚建</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●片引戸 ・1枚梱包×1 ●片引2枚建 ・2枚梱包×1 ●片引3枚建 ・3枚梱包×1 	 <p>鴨居 鴨居レール たて枠 方立 小たて枠 戸当り 目板 敷居レール 敷居 内寸定規 部品袋</p>



● 部品袋詳細

タイプ	枠組み立て用木ねじ 木ねじ皿 3.8×51×8	鴨居取り付け用木ねじ 木ねじ皿 3.8×51×8	敷居取り付け用木ねじ 木ねじ皿 3.5×45×7	たて枠取り付け用木ねじ 木ねじ丸 3.8×50×7	ホールプレート	接着剤	施工要領書
引違い戸2枚建	8	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※2(H寸法による)	—	1	1
引違い戸4枚建	8	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※2(H寸法による)	—		
引違い戸3枚建	8	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※3(H寸法による)	※3(H寸法による)		
片引戸	10	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※2(H寸法による)	—		
片引戸2枚建	10	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※4(H寸法による)	※5(H寸法による)		
片引戸3枚建	10	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※4(H寸法による)	※5(H寸法による)		
引分け戸	12	※1(W寸法による)	※1(W寸法による)	※2(H寸法による)	—		

W寸法範囲	※1 数量
W < 961	3
961 ≤ W < 1761	4
1761 ≤ W < 2561	6
2561 ≤ W < 3361	8
3361 ≤ W	10

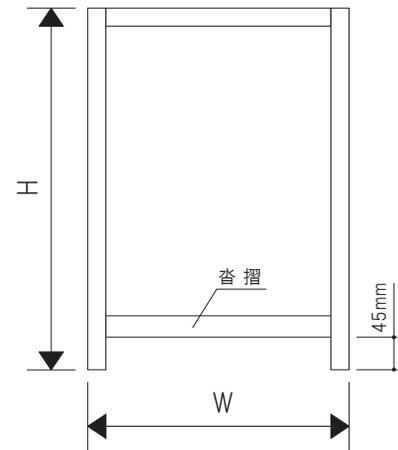
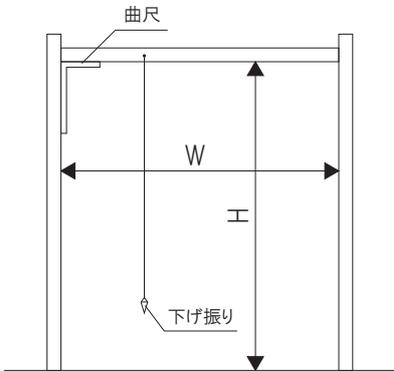
H寸法範囲	※2 数量	※3 数量	※4 数量	※5 数量
H < 1101	6	4	5	2
1101 ≤ H < 1501	8	6	7	3
1501 ≤ H < 1901	10	8	9	4
1901 ≤ H ≤ 2100	12	10	11	5

1 開口部の確認

・引戸枠取り付け前に、必ず柱の水平、垂直が出ているか確認してください。

・たて枠が敷居下面よりも45mm長く設定されています。
 ※納まりによっては、たて枠(小たて枠、方立)下部を切断する必要があります。

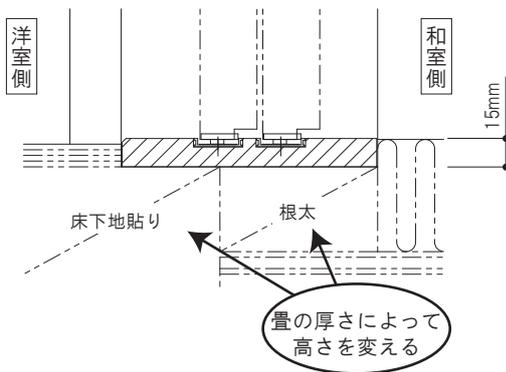
開口部



【敷居の納め方について】

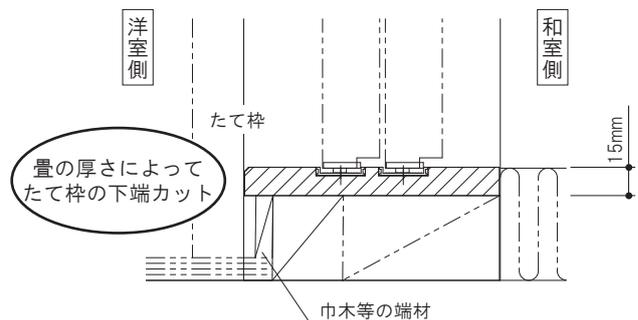
和室・洋室段差なしで納める場合

下図のように和室-洋室の段差を3mm以内に納める事ができます。たて枠は敷居下面に合わせてカットしてください。ただし畳の厚さが15mm以上の場合、和室と洋室で床下地貼りや、根太の高さを変える必要があります。



和室・洋室段差ありで納める場合

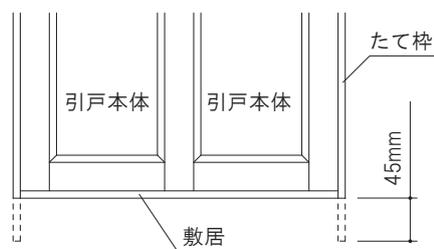
和室-洋室に段差ができますが、和室と洋室で床下地貼りや、根太の高さを変える必要はありません。畳の厚さ等納まりに応じて、たて枠の下端をカットしてください。



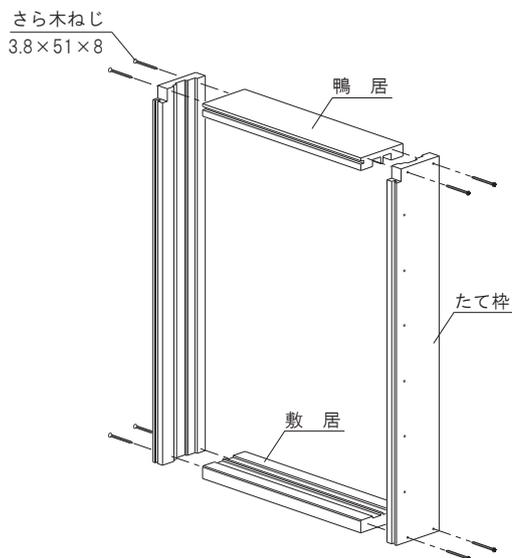
2 枠の組み立て

・引戸枠全てに下穴が加工されています。
図のように各部材を組み合わせ、
枠組み立て用木ねじ(皿木ねじ3.8×51×8)で組み立ててください。

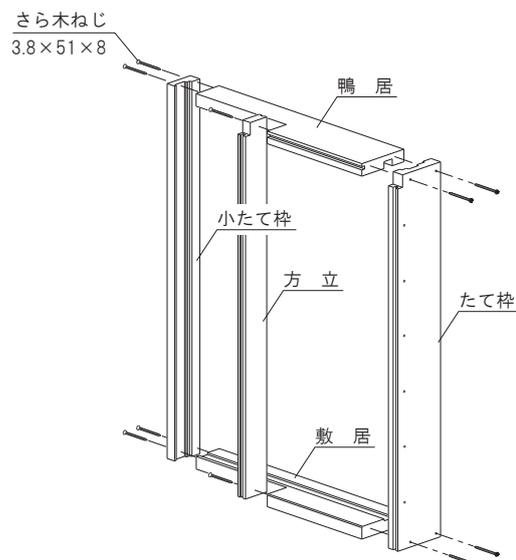
・敷居下面より45mm長く設定されているたて枠(小たて枠・方立)を
現場納まりに合わせてカットしてから組立ててください。



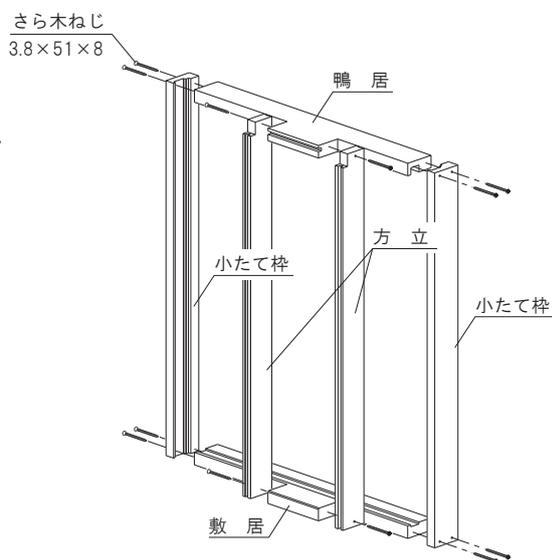
引違い(2枚建・3枚建・4枚建)戸枠



片引き戸枠・片引2枚建・片引3枚建

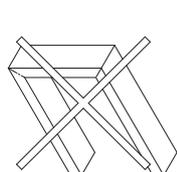


引分け戸枠

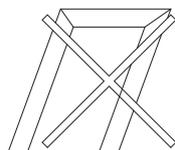


❗ 枠組み立てねじは手回しドライバーにて
取り付けてください。
電動ドライバーを使用すると、ねじが
きかなくなる恐れがあります。

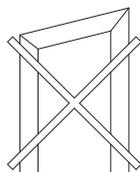
- ※ ①木ねじ止め時、枠に傷をつけないように止めてください。
②クサビなどは、左右4個、上下各2個くらいを平均に使用して調整を行なってください。
木ねじはクサビなどがある場所へねじ止めしてください。
③施工後の枠が下図のようにならないよう水平・垂直および開口部寸法の確認をしてください。
(いずれも±1.5mm以内の施工にてお願いいたします。)



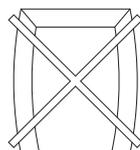
倒れ



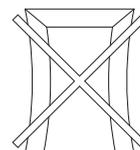
傾き



ズレ



たいこ

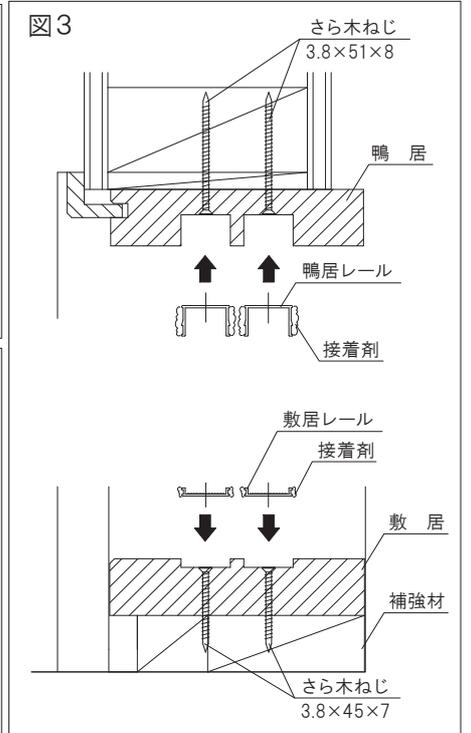
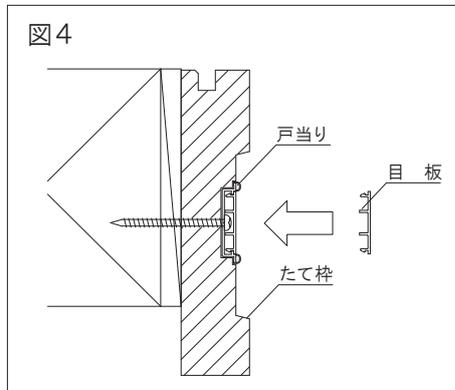
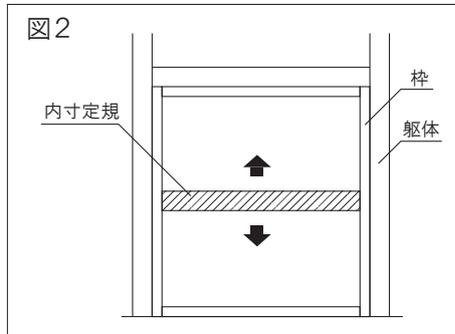
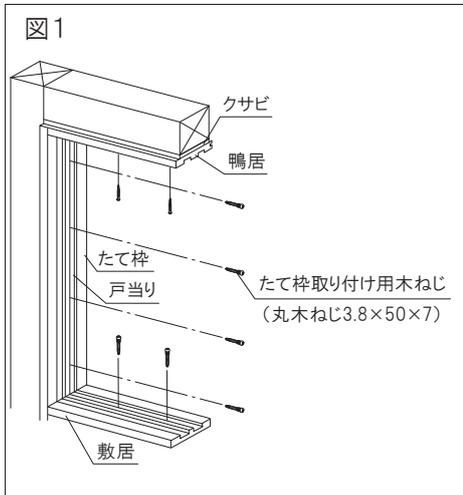


つづみ

3 枠の取り付け

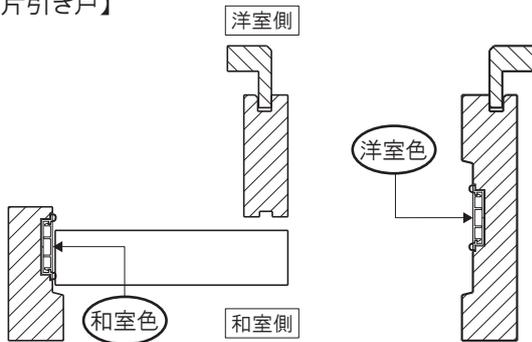
- ① 枠をラフ開口部にはめ込み、クサビなどで上下、左右、前後、倒れなどを調整し、位置を決めてください。
- ② 鴨居はレール部より、たて枠は戸当り部より駆体取付用木ねじで、駆体にしっかりと固定してください。
 その際、同梱の内寸定規を用いて、図2のように開口寸法の確認を行なった後、本固定してください。
 (敷居には接着剤を塗布し、木ねじで駆体に固定してください)
- ③ 枠を本固定後に、鴨居レールおよび敷居レールをレールの両端に接着剤を付けて、図3のようにはめ込んでください。
- ④ たて枠の戸当り部に目板を、図4のようにはめ込んでください。

注 目板をはめ込む際はハンマー等で直接たたかないでください。目板の割れ等、破損する恐れがあります。
 はめ合いが固い場合は当て木を使用してください。

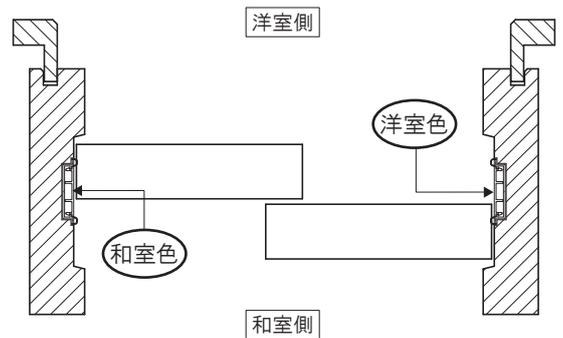


注 片引き戸枠、2枚建用引違い枠については、たて枠用目板の色が左右で違いますので取付時に御注意願います。

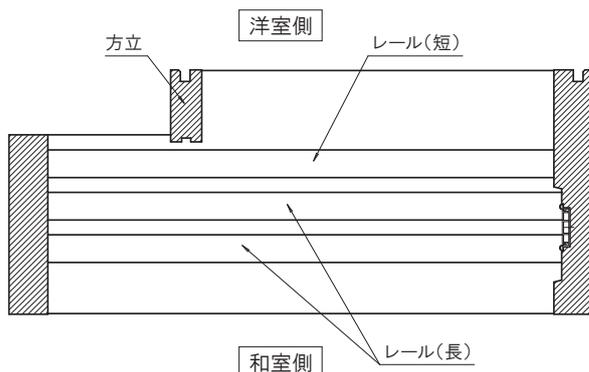
【片引き戸】



【引違い戸】

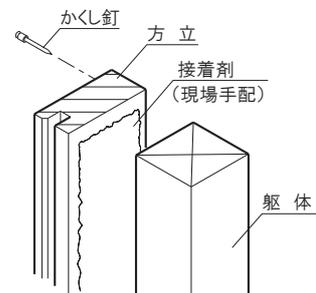


注 片引3枚建の鴨居レール・敷居レールには、長短があります。
 洋室側(方立側)に短いレールを納めてください。

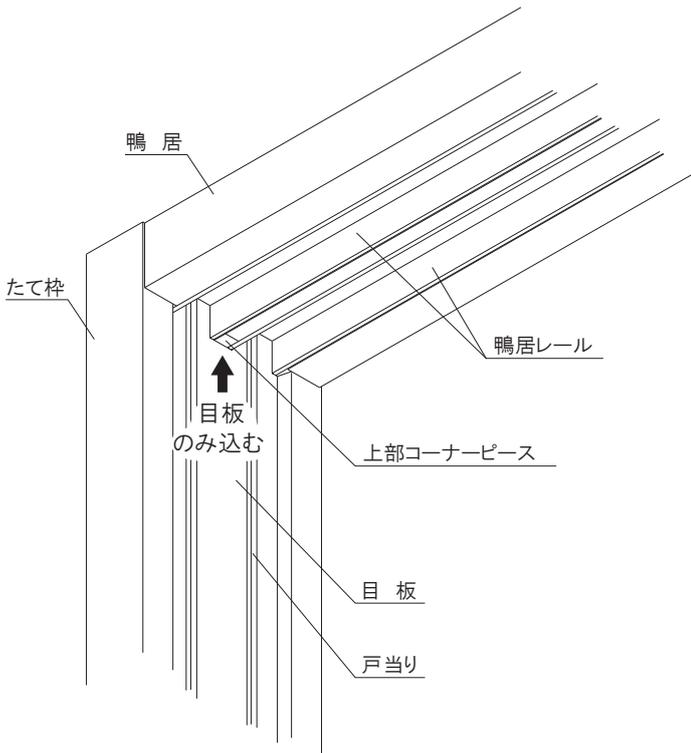


※お願い

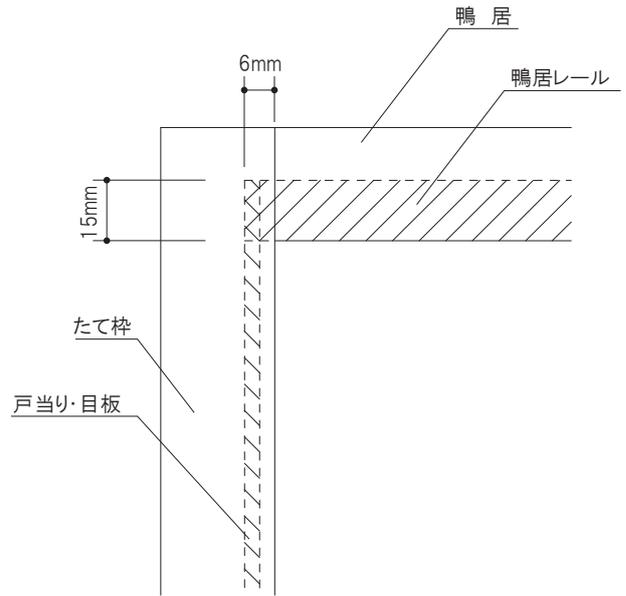
- 片引き・引分けの建具引込みの半壁は、枠を開口部に取り付けてから施工してください。
- 片引き・引分けの場合、方立は裏面に接着剤(現地手配)を塗布し、かくし釘(現地手配)で固定してください。



【鴨居コーナー部詳細図】



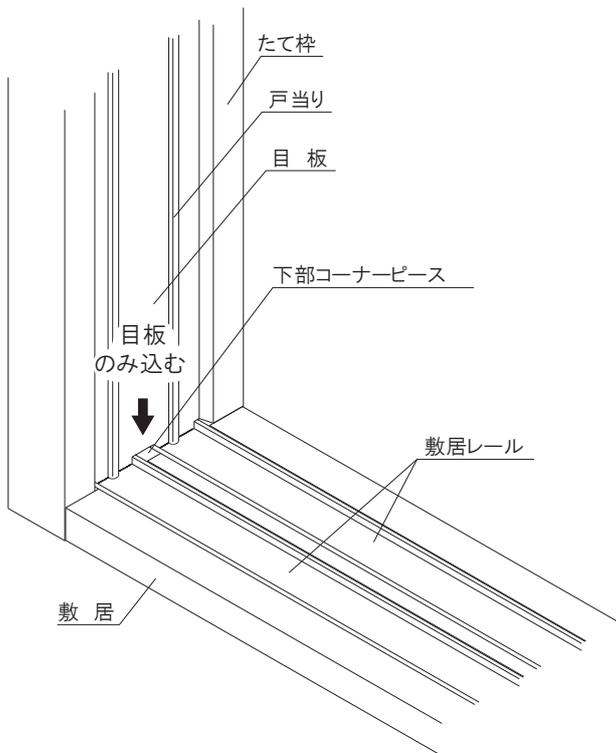
戸当り・目板・レール納まり図



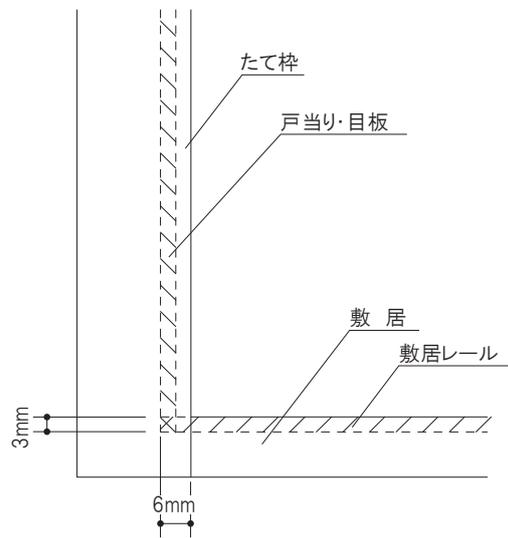
※片引き・引分け用鴨居、小たて枠の場合でも納まりは同様です。

※鴨居レールは、たて枠の戸じゃくりの中まで伸びています。

【敷居コーナー部詳細図】



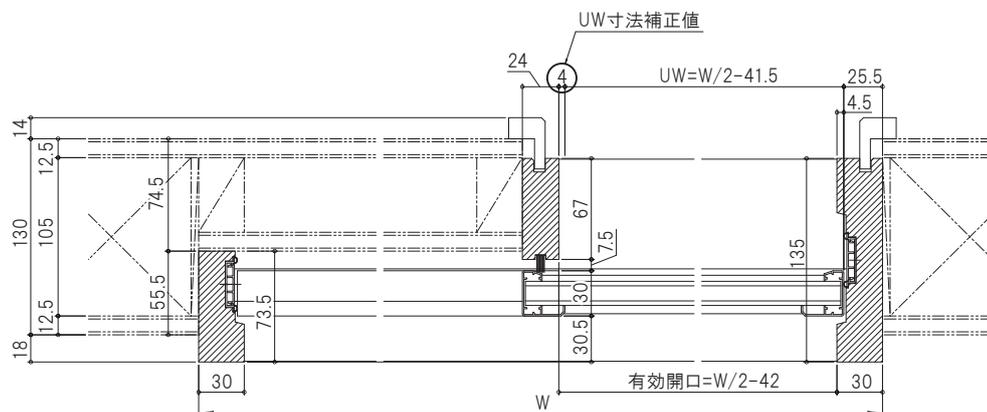
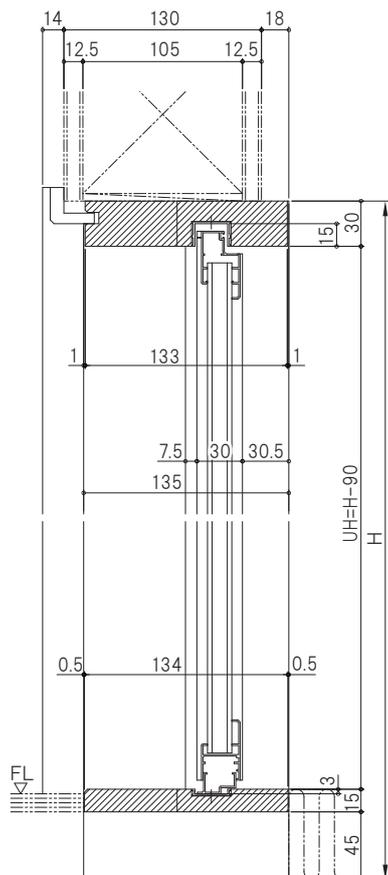
戸当り・目板・レール納まり図



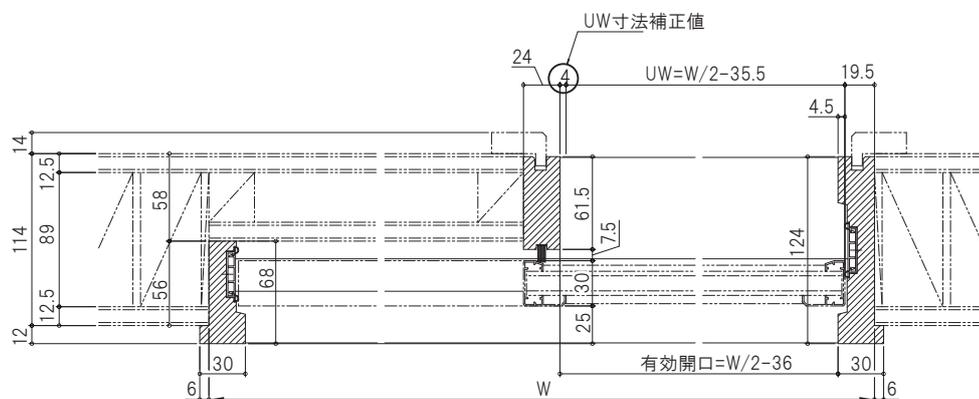
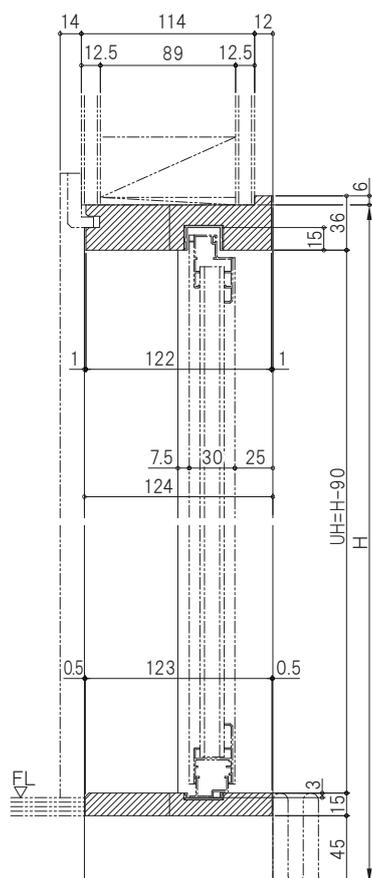
※片引き・引分け用鴨居、小たて枠の場合でも納まりは同様です。

※敷居レールは、たて枠の戸じゃくりの中まで伸びています。

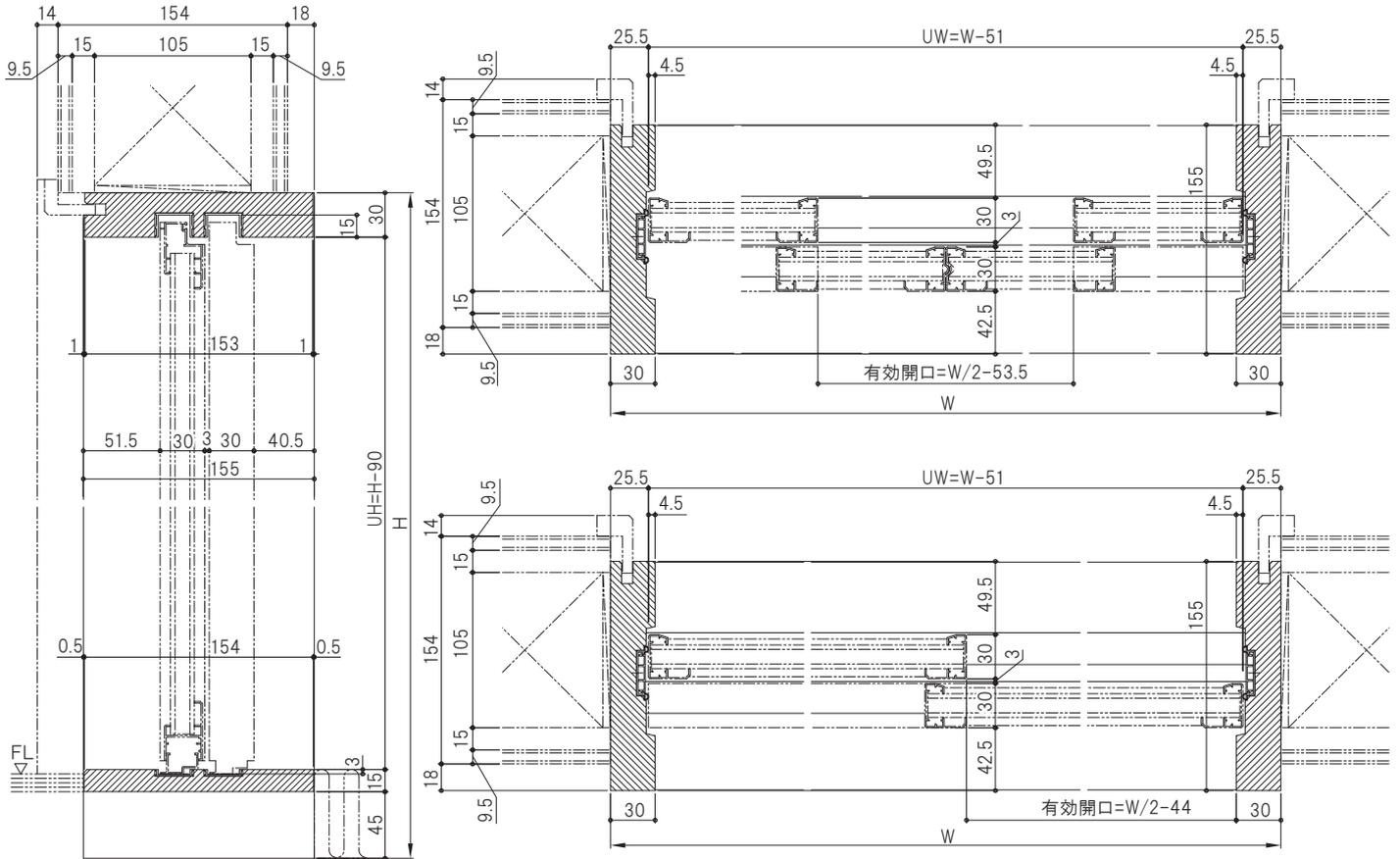
■戸襖引戸／片引き戸／135枠 (在来)



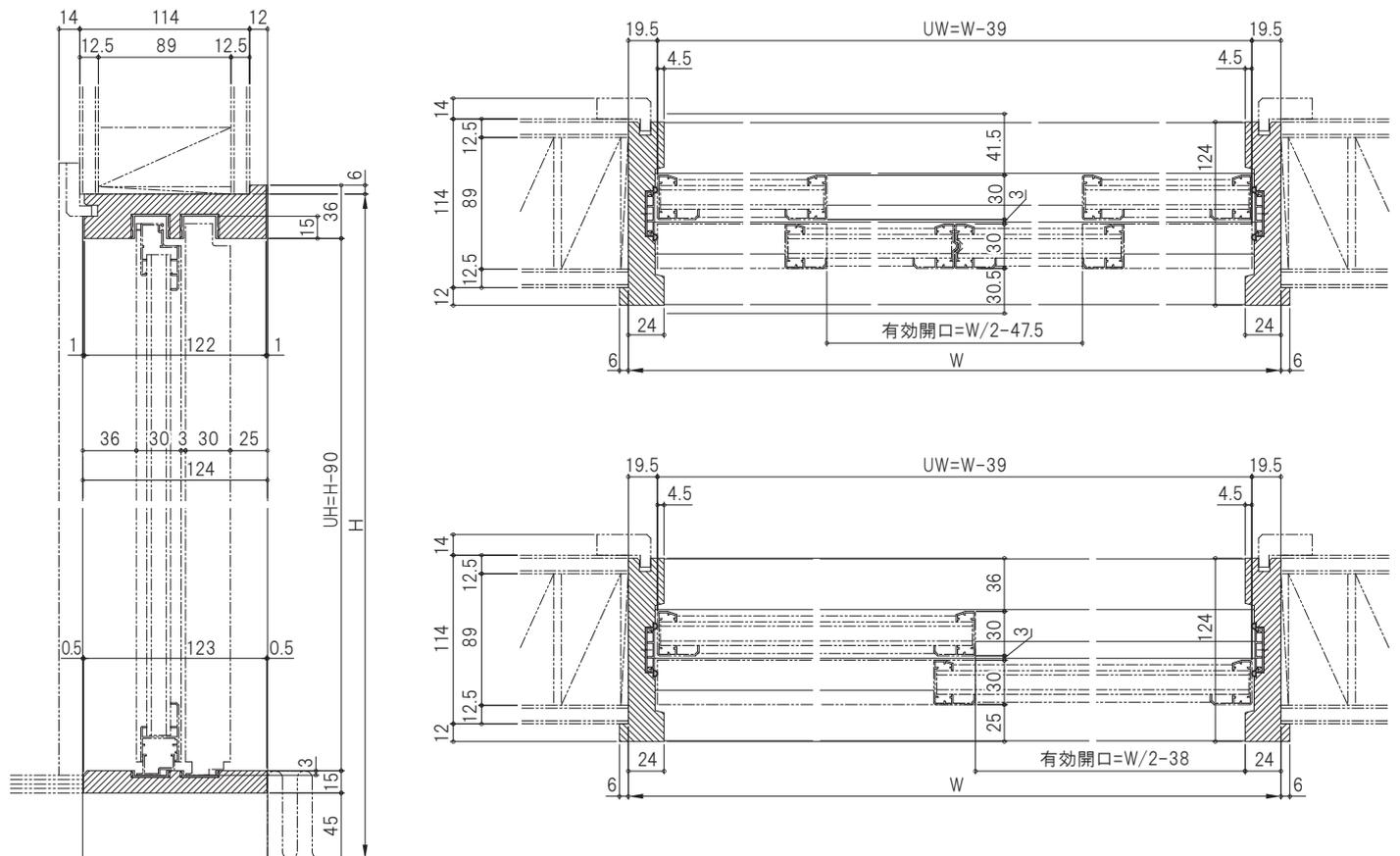
■戸襖引戸／片引き戸／124枠 (2×4)



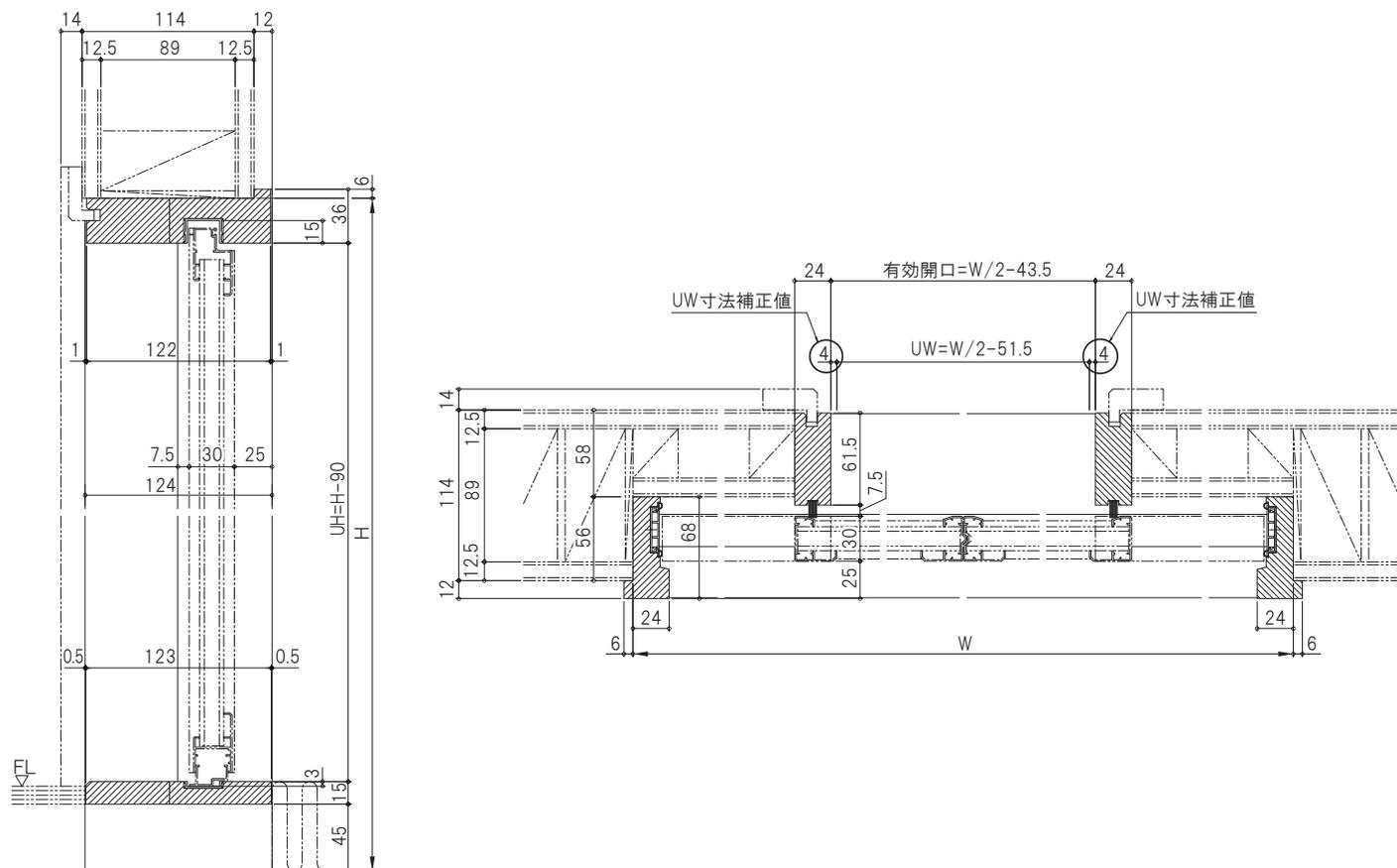
■戸襖引戸／引違い戸／155枠 (在来)



■戸襖引戸／引違い戸／124枠 (2×4)



■戸襖引戸／引分け戸／124枠(2×4)



■戸襖引戸／片引き2枚戸／165枠(在来)

